



地域医療連携だより かまんざ

地域医療連携だよりの発刊にあたって

院長 小林 裕

医療関係機関の皆様、平素より患者さまをご紹介いただきありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症がようやく一段落して参りました。この間、患者紹介におけるチェックシート記入など、当院の診療にご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

当院は、地域医療支援病院であるとともに高度急性期病院として地域の中核的役割を担ってきました。新型コロナウイルス感染拡大下においても、一部診療科における予定手術の延期はあったものの、職員・患者さんからの院内感染を発生させることなく、救急医療・一般診療体制を継続してきました。

政府の緊急事態宣言が解除された今、**すべての診療科における外来・入院、救急は通常通り診療を行っています。** 家族の面会禁止など、患者さまにご負担をおかけすることもあります。治療・検査を望まれる患者さまに安心して来院していただけるよう、安全確保に最大限努めております。

この度、地域医療連携だより“かまんざ”の発刊にあたり、当院における感染対策に対する取り組みについてご紹介させていただき、皆様に当院へのご理解と今後も変わらぬご支援をお願いしたいと考えております。また、予測されている第2波に向けて地域関係機関の皆様と連携しながら、京都の医療をいっしょに支えていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



外来を受診される方への対応

外来受診時には、マスクの着用をお願いしています。また、外来に来られる患者さんへ、新型コロナウイルス感染症対策のため、体温測定や問診票による体調確認を行っています。（発熱・呼吸器症状・濃厚接触歴など）体温測定・問診の結果、必要時医師と相談し対応しています。

電話診療については、予約患者さんに対して、「病状の安定」、「検査がない」など、条件の該当する患者さんに対してのみ対応しています。



当院では、PCR検査目的の受診はお断りしています。PCR検査の必要がある場合、まずは行政の「新型コロナウイルス感染症専用相談窓口」にご相談ください。全身状態が悪く、緊急を要する場合は、当院へご連絡ください。



入院される方への対応

入院予定の患者さんに対して、発熱や呼吸器症状等が見られた場合、速やかに連絡いただくよう説明しています。

入院当日は、入退院支援センターでの入院受付時に体調を確認、入院病棟では初めに看護師が体温測定をはじめ症状の確認をさせていただきます。

ご家族については、入退院時の付添いは1名でお願いし、面会については、

- ・病院から来院をお願いした場合
 - ・日用品等の受け渡しが必要な場合
- 以外は制限させていただいております。



- また面会時の注意点として、
- ・入館申込書を提出し、入管許可証を着用いただきます。
 - ・発熱、咳など風邪症状のある方はご遠慮ください。
 - ・面会人数は1名（家族のみ）といたします。
 - ・面会時間は15～16時、18～19時の間の10分以内。
 - ・面会の前に必ず手指消毒し、マスクを着用ください。
 - ・病棟では、必ずナースステーションにお立寄りください。



当院の感染症対策について

病院の出入口を制限し、B棟玄関・A棟救急患者入口のみに制限しています。

カウンターなど対面形式となる箇所には、安心感が持てるよう、ビニールカーテンを設置しています。消毒液の設置個所を増やし、待合室の椅子や手すりなどは定期的に消毒しています。

また、ソーシャルディスタンスが保てるよう、行列箇所には目印を貼るなどの対策をとっています。



職員の取り組み

- 当院では、感染制御部に
- ・医師（ICD:感染管理医師）
 - ・看護師（ICN:感染管理認定看護師）
 - ・検査技師

の4職種が共同して感染対策を行っています。入院患者・外来患者の感染症発生状況の把握、感染症発生時のゾーニングや職員への対策マニュアルの整備・周知など、多岐にわたって活動しています。

- また職員に対しては、
- ・感染予防行動の徹底（マスク着用・手指衛生）
 - ・職員食堂の座席配置変更（対面回避）
 - ・不特定多数の人が集まる場所への出入り禁止
 - ・複数人以上での会食の禁止
 - ・体調不良時の上司報告・休暇取得の手続きを徹底しております。





副院長 就任挨拶

副院長 魚嶋伸彦



卒年: 昭和62年卒
 専門: 血液疾患一般・造血幹細胞移植
 資格: 日本内科学会総合内科専門医・指導医
 日本血液学会評議員・専門医・指導医
 日本造血細胞移植学会評議員・認定医
 日本輸血・細胞治療学会認定医
 日本がん治療認定医機構認定医

この度4月1日付けで副院長を拝命いたしました。本来ならば病病・病診連携懇話会で直接地域の先生方にはご挨拶申し上げるべきところですが、新型コロナウイルス感染症の影響でかきませんので失礼ながらこの紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

私は1987年に京都府立医大を卒業し、母校第一内科に入局、附属病院での研修後の2年間と大学院修了後の2年間当院内科に勤務をさせていただきました。その後、大阪府立成人病センターや松下記念病院での勤務を経て2014年8月当院血液内科に赴任いたしました。赴任後はすべての血液疾患を地域の先生方から迅速に受け入れ、ご紹介いただいた患者さんには先進的でありつつも優しい医療を提供できることを目標に取り組みでまいりました。また輸血部、クリニカルパス委員会の運営も担わせていただいています。さらに4月より、初期臨床医を育成する臨床研修委員会、医療サービス部門、栄養課部門も担当させていただくことになりました。これまでの経験と反省を活かし、より広い視野に立って病院運営を担い、地域の先生方と当院がより一層の密に連携できるよう精一杯の努力してまいります所存であります。皆様からこれまで以上のご指導を賜りますようお願いいたします。

また、3月以降新型コロナウイルス感染症への対応で地域の先生方にも何かとご心配をおかけしたと思います。しかしこれまでもそして現在も、当院は厳重な感染対策のもと通常通りの診療を行っています。引き続き当院へのご支援をいただければと考えています。何卒宜しくお願い申し上げます。

新任部長紹介



循環器内科部長
井上 啓司



健診部長
西大路 賢一



心臓血管外科部長
後藤 智行



こころの医療科部長
前林 佳朗



放射線診断科部長
兼放射線治療科部長
松島 成典

先生方・関係各職種の方へ

各地域連携会の開催について

- 本年7月開催予定の令和2年度病病・病診連携懇話会は中止いたします。
- 各診療科の研修・懇話会につきましては、開催の際に通知させていただきます。

退院前カンファレンスの開催について

退院前カンファレンス・介護連携指導につきましては、場所の確保等の感染予防策をとり、必要に応じて対応させていただきます。

京都第二赤十字病院 各種専用ダイヤル

地域医療連携課 (当日紹介・予約・診療に関する問い合わせ)

TEL: 075-212-6186

[平日] 8時30分~20時30分 [土曜日] 9時00分~13時00分

救命救急センター (救急診療を24時間365日対応しております)

TEL: 075-212-6119

脳卒中専用ダイヤル (急性期脳卒中診療を24時間365日対応しております)

TEL: 080-3318-6131

* 平日8時30分~17時00分は地域医療連携課員が当番医へお繋ぎします

心臓血管ホットライン (院内に常駐する心臓血管外科スタッフが24時間対応)

TEL: 070-1381-9956